

災害時 お役立ちガイド

入居時に確認・記入し、目に見えるところに貼るか、大切に保管しましょう。

地震

突然大きな揺れに襲われたときは、**テーブルの下に隠れる**などして、自分の身を安全に守れるように心がけましょう。

戸を開けて、出入り口の確保をしましょう。棚や棚に乗せてあるもの、テレビなどが落ちてきたりするので、離れて揺れが収まるのを待ちましょう。あわてて部屋の外に飛び出さないようにしましょう。

●[引用・参考] 防災マニュアル(消防庁)

https://www.fdma.go.jp/relocation/bousai_manual/index.html



津波

現在住んでいる賃貸住宅が海辺の低い場所にある場合、津波・津波警報・注意報を見聞きしたり、強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、**高い安全な場所へ避難**しましょう。

●津波から身を守るために(気象庁)

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami201501/index.html>



●リーフレット「地震・津波安全のしおり」(気象庁)

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/eqtsunami_guidance/index.html



台風・大雨

あらかじめ災害への備えを確認するとともに、**避難情報**に応じて**危険な場所から避難**しましょう。

●自分で行う災害への備え(気象庁)

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/ame_chuui/ame_chuui_p10.html



●避難情報に関するガイドライン(内閣府)

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/



火災

火事が発生したら大声で近所の人に知らせ**119番通報**をしましょう。出火直後であれば、避難経路を確保した上で消火器等で消火します。危険を感じたら、無理に消火活動を続けず避難しましょう。(一人の時は初期消火を行ってから119番通報)

●英語版! 消防訓練に使える動画資料

(大阪市中央消防署)

https://www.city.osaka.lg.jp/shobo_chuo/page/0000515068.html



●住宅防火10の心得(東京消防庁)

https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/topics/10_kokoroe/index.html



電気の復旧方法

電気が止まった場合は復旧までしばらく時間がかかることがあります。連絡手段が無くならないよう、**携帯電話やスマートフォンの充電器(モバイルバッテリー)**を用意しておきましょう。

電力

会社名

電話

番号

ガスの復旧方法

地震・災害などの危険を感知して、ガスが止まる場合があります。**メーターについている赤ランプが点滅している場合は決められた手順で操作**することで、開栓できます。

ガス

会社名

電話

番号

水道の復旧方法

水道が止まった場合、復旧までしばらく時間がかかることがあります。**あらかじめ飲料水を準備**しておくようにしましょう。

水道

会社名

電話

番号